



超仕上げ盤の全体像

ダイセイ株式会社

精密測定と超仕上げ加工を 追求する頼れる存在

- 海外発注可
- 納期相談
- 力有自信
- コスト相談
- オンライン技術
- インジャパン

業務内容
高精度な計測と
確かな仕上がりを保証

ダイセイは創業以来一貫して「測ること」に打ち込んできた会社だ。エアマイクロや電機マイクロメータを応用した自動計測機等の製造をしている。「いかに大量の部品の計測を高い精度で保証するか」、その一点にこだわってきた。また、0.02μmの表面粗さまで加工する「超仕上げ盤」も主力製品となっている。顧客の中には40数年前に納品した同社の製品を今でも使っているケースもあるそうだ。それだけ確かな精度が保証されていることがうかがえる。

強み
1台1台、メーカーの
ニーズに合った製品づくり

エンジン等の主要部品の加工は、性能を左右するため精密な寸法精度が要求される。同社の自動計測機は、部品の内径・外径・長さ・振れ等の寸法検査を自動で計測。数ミクロン単位の誤差を選び分け合格・不合格の選定をすることで、分別後に刻印まで押すという優れたものだ。また、業界に先駆けて開発した「スーパーパーフィニッシングマシン（超仕上げ盤）」は、それまで手作業だった工程を自動化することに成功した。

しかも、測定する部品や加工内容はさまざまで、顧客によって仕様は異なる。「1台1台、納品先の要望に応えてきました」と語る川口社長。受注生産できめ細かな対応をしながら、すでに4000台以上を出荷してきた。同社の製品しか使わないと

いう顧客もあるほどだ。「計測と加工の両方できるのが強み」と川口社長が言うように、メーカーには心強い存在になっている。



超仕上げ盤の機構部

技の承
課題から逃げずに
向き合い成長を遂げる

「作業効率を高めながら、さらに品質を上げたい」と望むメーカーの要望や、材質の変化にも向き合ってきた。その姿勢が「ダイセイならなんとかしてくれる」という安心ブランドの礎となっている。とはいうものの、精密測定は容易にマスターできるものではないという。そこで、同社では新入社員は1年かけて、すべての現場を経験する技能研修を実施。熟練工が付き添って技の伝承を行うのだ。ここでは技術だけでなく、ものづくりの魂も伝えられている。

後の展望
想像力や開発力を活かして
異業種のニーズに応える

電気自動車の台頭に伴い需要に変化が起ころつつある中、同社の持つノウハウを異業種で役立てたいと考えている。「発想を変えればもっと広い世界でお役に立てるはず」と、新製品の開発に余念がない。

COMPANY PROFILE

ダイセイ株式会社

ISO 9001
ISO 14001



スタートは昭和32年、マイクロメータの製造からです。空気の流れで工業製品のサイズを計測する装置を開発し、以来、精密計測と超仕上げ加工で、ユーザーのニーズに応じた製品を次々と送り出してきました。当社の自動超仕上げ加工機は、「歴史的価値のある工作機械を顕彰する会」で平成21年に「ベストテクニカル賞」を受賞。有芯式三軸同時加工技術が評価されました。

精密計測と精密加工にこだわってきました。
これからも存在価値のある会社を目指します。

代表取締役 川口 健二さん



■主な事業内容
精密機械測定器・工作機械の製造・販売とそれに付随する業務全般等

■主な取引先（納入先）
自動車メーカー、ベアリング関係会社・自動車部品会社等

住所 / 〒563-0035
池田市豊島南2-209
TEL / 072-761-1651
FAX / 072-761-7991
創業 / 昭和32年10月
設立 / 昭和32年10月
資本金 / 9,000万円
従業員 / 60名

<http://www.daisei-kk.co.jp>